

minobu-nobinobi-guide book

いろんな見どころが光ってる

みのぶのびのび ガイドブック

みのぶのびのびガイドブック

発行

身延町みのぶ自然の里

(特定非営利活動法人みのぶ観光センター)

〒409-3313

山梨県南巨摩郡身延町平須238-1

Tel 0556-42-3181

Fax 0556-42-3182



みのぶ
のびのび
ガイドブック
minobu-cho

いろんな見どころが光ってる
みのぶのびのびガイドブック



目次

- 01…なかとみ和紙の里
- 02…西嶋地区イルミネーション
- 03…句碑の里1
- 04…句碑の里2
- 05…句碑の里3
- 06…壑田千本桜
- 07…堂平集落の星の観察場所
- 08…ダイヤモンド富士撮影地
- 09…みのぶ自然の里1
- 10…みのぶ自然の里2
- 11…幻の大豆「あけぼの大豆」
- 12…木喰上人
- 13…木喰の里微笑館
- 14…千円札の逆さ富士・本栖湖
- 15…一色地区ホタルの里
- 16…湯町ホタル公園
- 17…大聖寺の不動明王坐像
- 18…広重も描いたびょうぶ岩
- 19…甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
- 20…下部温泉郷
- 21…湯之奥金山遺跡
- 22…しだれ桜の里づくり(富士川クラフトパーク)
- 23…上澤寺オハツキイチョウ
- 24…本国寺オハツキイチョウ
- 25…久遠寺三門
- 26…久遠寺菩提梯
- 27…身延山
- 28…久遠寺本堂
- 29…久遠寺祖師堂
- 30…久遠寺の墨龍
- 31…久遠寺のしだれ桜
- 32…身延山ロープウェイ
- 33…身延山奥之院思親閣
- 34…日蓮上人お手植えの杉
- 35…身延山御草庵跡
- 36…身延どんぶり街道

●この通し番号がマップに記されています。
マップとガイドブックをつなぐ番号です。



みのぶ自然の里、しだれ桜の里づくり事業、
あけぼの大豆、どんぶり街道、
いろんな見どころが光ってる、
みのぶのびのびガイドブック

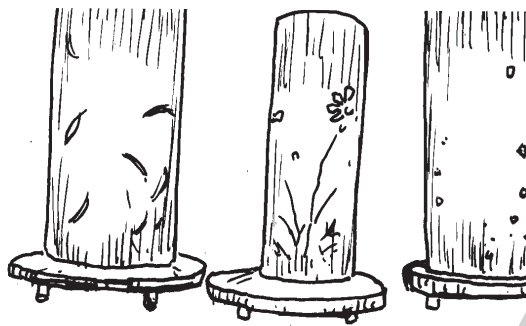
このガイドブックの楽しみ方

このガイドブックは、身延町全域の見どころ、楽しみどころ、食べどころを紹介したガイドブックです。各記事にはその場所の住所や連絡先が記してあり、またQRコードが配されています。別に差し込みでマップもご用意させていただきました。

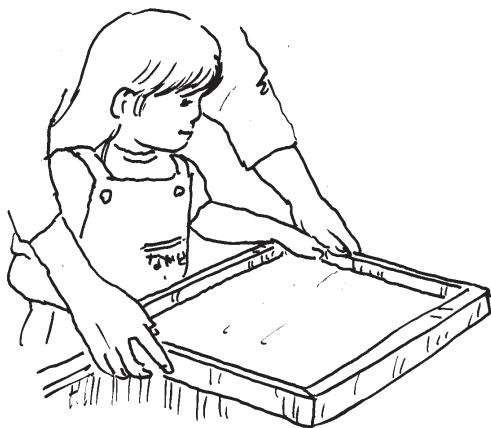
このガイドブックを、みなさんのスタイルで使いこなしていただき、身延町を探索してみてください。いろんな出会いが待っていることと思います。塗り絵にもぜひチャレンジしてみてくださいね。

全国各地特産和紙の
展示販売があるのは、
日本広しと言えども
「なかとみ和紙の里」だけである。

01



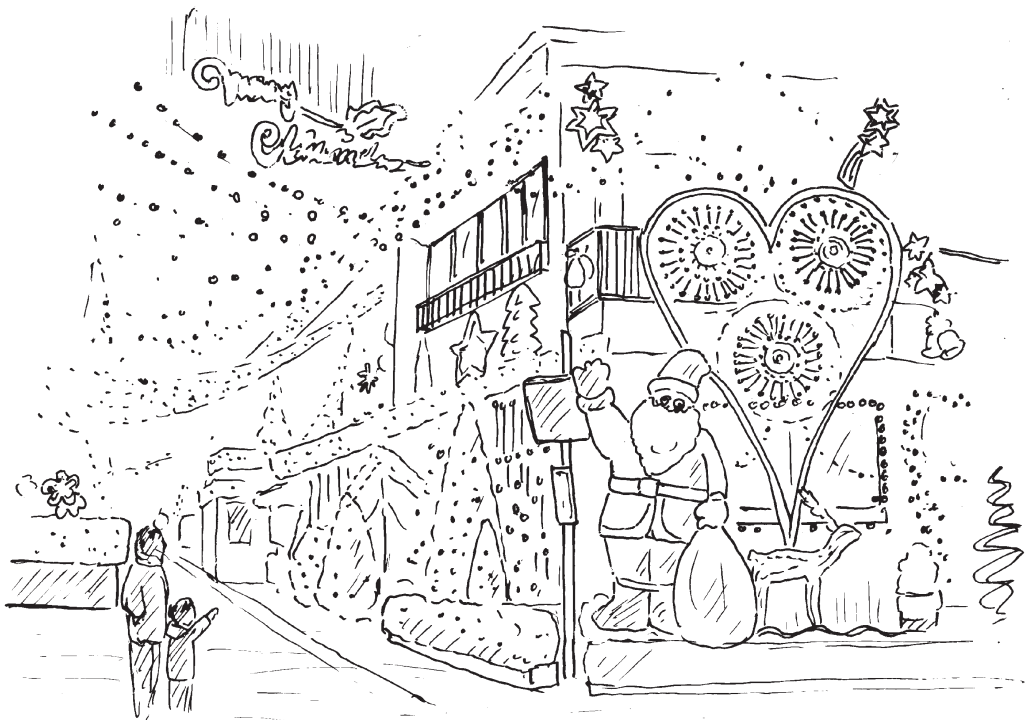
西嶋は、戦国の昔から和紙の生産で有名です。全国の和紙・二千五百種類以上を展示・販売しているのは、「なかとみ和紙の里」だけ。紙漉き体験（うちわや灯り漉き）が手軽にできます。和紙で卒業証書や賞状を作ってみませんか。世界に誇る「和紙」の魅力を体験してみてください。「なかとみ現代工芸美術館」では、紙をはじめとする現代工芸作品の各種企画展を行っています。また、「味菜庵」では地元の食材を使った食事が楽しめます。曙地区で収穫したあけぼの大豆を使って作った豆腐は濃厚な味で、最高です。



なかとみ和紙の里
身延町西嶋345
Tel 0556-20-4556

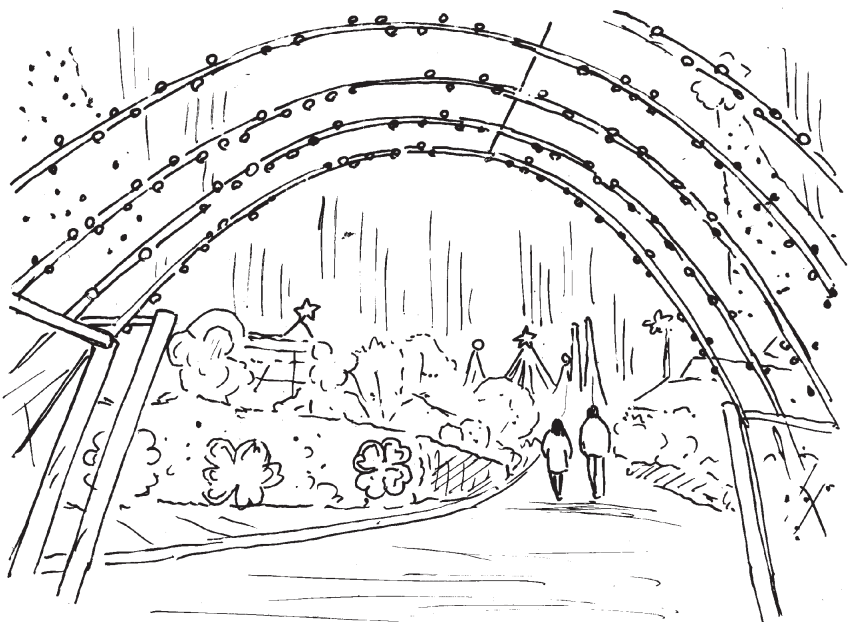


冬の夜、西嶋西町地区は、
まるでおとぎの国のようになる。



冬の夜、西嶋西町地区は、美しい光に包まれます。地元の人々が、地域を盛り上げようと始めたものです。試行錯誤しながらの飾り付けは家族総出。イルミネーションの数は、なんと十万個！およそ三十六軒が電飾されます。

庭にはトナカイや雪だるまなどが置かれ、まるでおとぎの国のようにです。午後五時から十時までのこの光のページェントは、毎年、十二月初めから翌年一月三日まで続きます。休日は、地元の人たちがすいとんやゆず湯で見物客に温かいおもてなしをしてくれます。



02

「句碑の里」には、千墓もの句碑があり、
「世界最多の句碑」としてギネス記録に
申請中である。

「句碑の里」は、国道五十二号から富士見
山へ向かう久成（くなり）地区の道沿いに
あります。ここには句碑が約一キロにわた
ってずらりと並んでいるのです。卒業記念
や故人を偲ぶものなどその種類は多様。石
碑は、昭和六十三（一九八八）年から着実に
増えつづけ、現在千墓を超えました。平成
十九（二〇〇七）年、句碑の数は一一六四墓
になり、ギネス記録に登録申請しています。



世界に一つだけの
句碑を
つくることが出来る。

04

自作俳句と俳号を西嶋特産・画仙紙に書
きますと、それがそのまま石に刻まれて「句
碑の里」に立てられます。

碑になるまでは、およそ三ヶ月。その後、
石碑拓本と写真が送られてきます。価格は
一墓、七万円（短歌は八万円）。

永六輔が描いた特製ラベルの甲州ワイ
ンも送られます。その他、定期的な句会（郵
送による）や「句碑の里まつり」など催し物
も行われます。

あなたも永遠に残る句碑を作ってみて
はいかがですか。

○問い合わせ先 句碑の里を育てる会

〒四〇九・三三〇三

身延町寺沢 一三三・三三〇五

・まずはお手紙でお願いします。



「句碑の里」は、
過疎逆手塾^(かそさかてじゅく)と
永六輔^(えいろくすけ)の協力によって
生まれた。



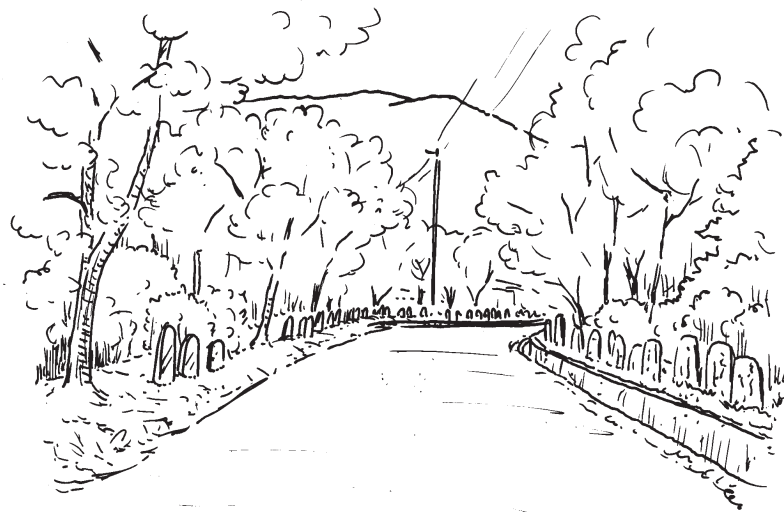
「句碑の里」ができたのは、「過疎逆手塾」のグループが旧中富町の過疎化を逆手にとって町おこしをしようと始めたのがきっかけです。

この地区は、江戸の末期から昭和初期にかけて作句活動が盛んでした。句碑を刻む石工も、千年前から存在したと言われています。句碑の里づくりは、石工職人の力を

借りたり西嶋の和紙を活用するなど地元
の伝統工芸を軸に進められました。

永六輔が「逆手塾」に関心を持ってアド
バイザーとなり、代表の宮本重男さんが「句
碑の里」の構想を練り上げました。その後
「自分の句碑を建てませんか」という呼び
かけをはじめ、個人的な句碑の建立が進ん
でいます。

「墾田千軒」は、「墾田千本桜」
としてよみがえった。



かつて大きな集落があつた墾田は、最近
は、「墾田の千本桜」として桜の名所になつ
ています。この桜は、東京の神田精養軒が旧
中富町と縁があつたため寄付してくれたも
のです。約十年間にわたつて贈られた樹木
は、春になると見事に咲き誇ります。四月の
中旬から下旬、満開の桜並木を歩き、句碑
を見ながら一句詠んでみるのも一興かも。
千本桜の中にエドヒガンとしては中富地
区最大の桜の古木があります。近くに滝が
あることから「滝の大サクラ」(町指定文化
財)と呼ばれています。

06

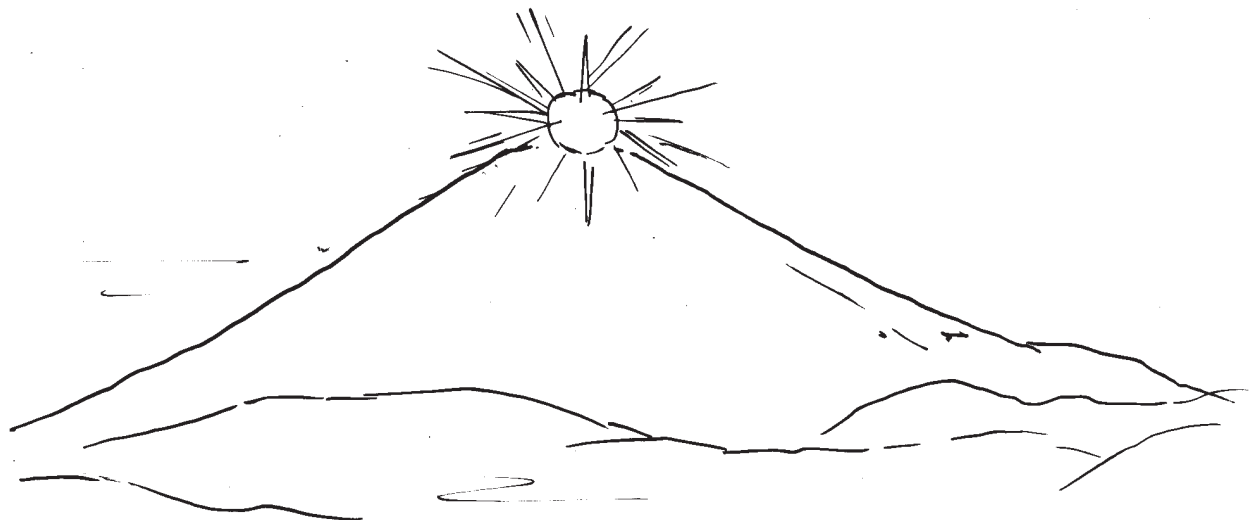
堂平^(どうだいり) 集落は、
絶好の星の観察場所である。

07

堂平は、標高七〇〇メートルの高台にあ
る集落です。堂平という名で分かるように
比較的広い平地です。照明が少ないため夜
になると周辺は真っ暗になります。この条
件は天体観測には最高。オリオン座三つ星
の暗黒星雲や昴(すばる)など、都市部では
見えにくい星の観察が可能です。望遠鏡を
片手に夜空を眺めてみるのに最適な集落で
す。



富士見山林道沿いには、
「ダイヤモンド富士」を
撮影できる絶好の場所が
十カ所ある。



ダイヤモンド富士撮影ポイント 時間の目安

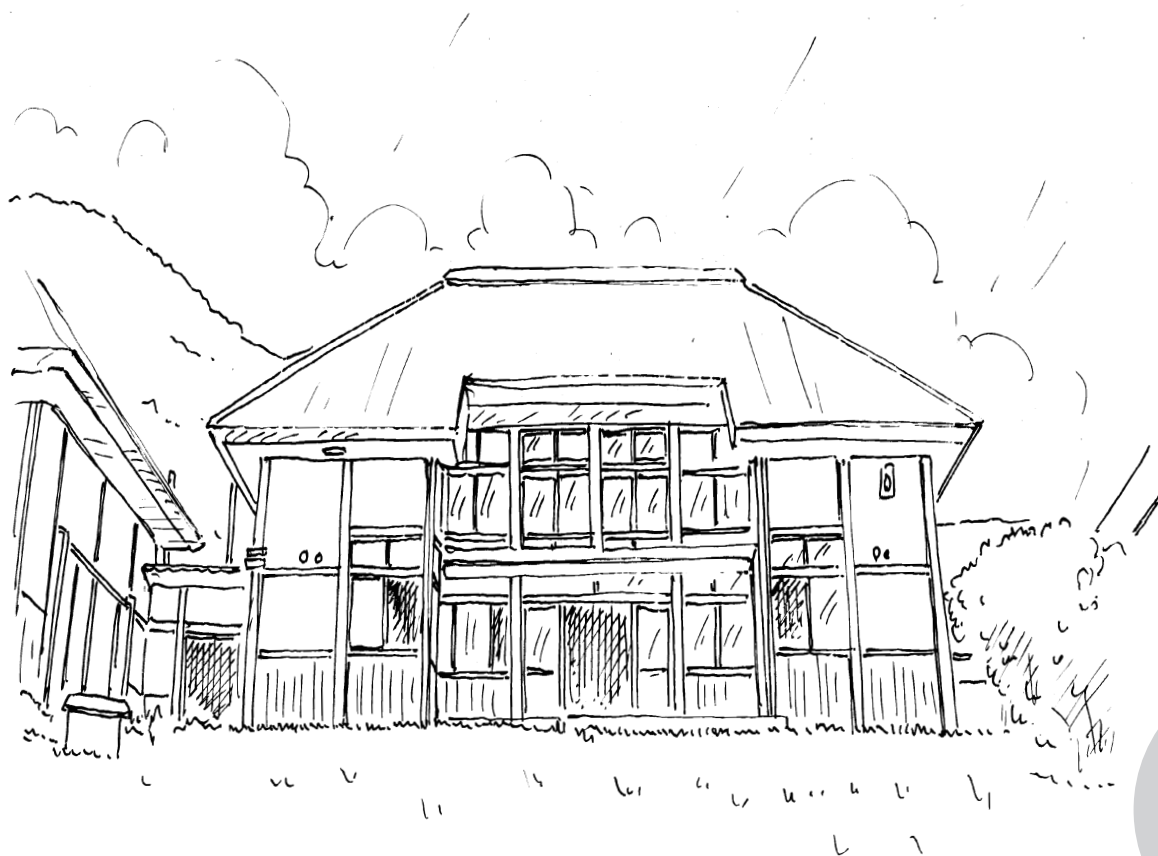
- | | | |
|---|----------|--------|
| ① | 1/24~26 | 7時25分頃 |
| | 11/17~19 | 6時54分頃 |
| ② | 1/25~27 | 7時24分頃 |
| | 11/16~18 | 6時53分頃 |
| ③ | 1/26~28 | 7時23分頃 |
| | 11/15~16 | 6時52分頃 |
| ④ | 1/28~30 | 7時21分頃 |
| | 11/13~15 | 6時50分頃 |
| ⑤ | 1/29~31 | 7時20分頃 |
| | 11/12~14 | 6時49分頃 |
| ⑥ | 1/31~2/2 | 7時25分頃 |
| | 11/11~13 | 6時48分頃 |
| ⑦ | 2/1~3 | 7時24分頃 |
| | 11/10~12 | 6時47分頃 |
| ⑧ | 2/6~8 | 7時12分頃 |
| | 11/5~7 | 6時42分頃 |
| ⑨ | 2/8~10 | 7時10分頃 |
| | 11/2~4 | 6時39分頃 |
| ⑩ | 2/9~11 | 7時9分頃 |
| | 11/1~3 | 6時49分頃 |



ダイヤモンド富士とは、富士山頂と太陽が重なり、ダイヤモンドのように輝く現象のことです。運がよければ、雲海が現れ、その上にダイヤモンド富士を見ることが出来ます。富士見山林道には、ダイヤモンド富士の撮影ポイントの看板が十カ所設置さ

れています。看板には、期間と時間が書いてあります。期間とエリアが限定されますが、シャッターを押すポイントがたくさんあります。ぜひ、一度素晴らしい光景をカメラに収めてみてください。

子どもを大人に 大人を子どもにさせる宿 みのぶ自然の里



09

みのぶ自然の里
身延町平須238-1
Tel 0556-42-3181



二〇一八年二月一日にオープンした
《身延町のぶ自然の里》

「子どもを大人に 大人を子どもにさせる宿」としてスタートしました。

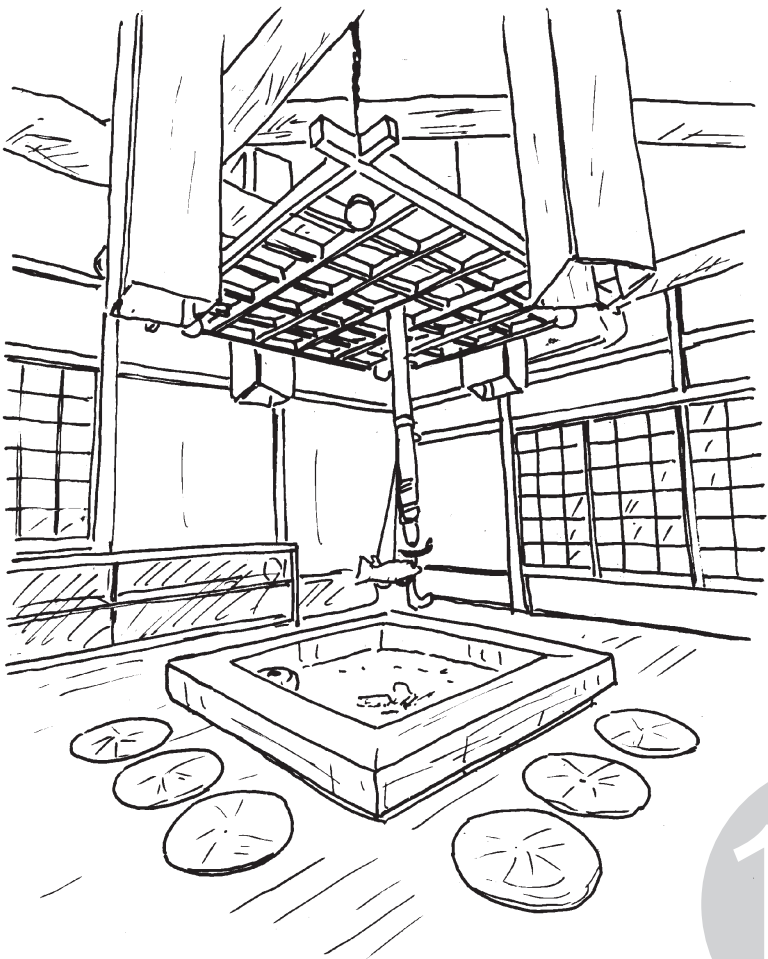
「たべてみよう」「手ぶらでアウトドアクッキング体験」「つくってみよう」「いちから簡単工作クラフト体験。」「やってみよう」里山で農業体験や芝滑り体験。「みつけてみよう」昆虫採集やバードウォッチング、満天の星空のもとで天体観測体験。

そんな普段できないさまざまな体験と感動を通し、大人は子どものように時間を忘れて夢中になり、子供は多くの「初めて！」を経験しながら、ひとまわり大きく成長できるはず！

日常を忘れ、自然に触れて、自然を感じ、自然から多くを学ぶことが出来る：そんな贅沢な休日を思いっきり満喫してください。

囲炉裏を囲んで
くつろぎのひととき、
どこか懐かしい雰囲気
心を癒してくれる場所。

10



みのぶ自然の里は、青少年のための教育施設を、広く一般のお客様にもお泊りいただけるように、新しく生まれ変わった体験型宿泊施設です。

プライベート重視の建物ではありませんが、お部屋は寝室とは別にくつろぎのスペースがある贅沢な間取り。共用スペースも多く、他のお客様との交流ができるのも自慢の一つです。

宿泊室はベットルームが全十室（二～六人部屋×二室、二～五人部屋×六室、一～二人部屋×二室）、食堂×二カ所、大浴場、屋外炊事場、屋根付き活動広場、体育館、研修室（六〇席）の設備があり、自然体

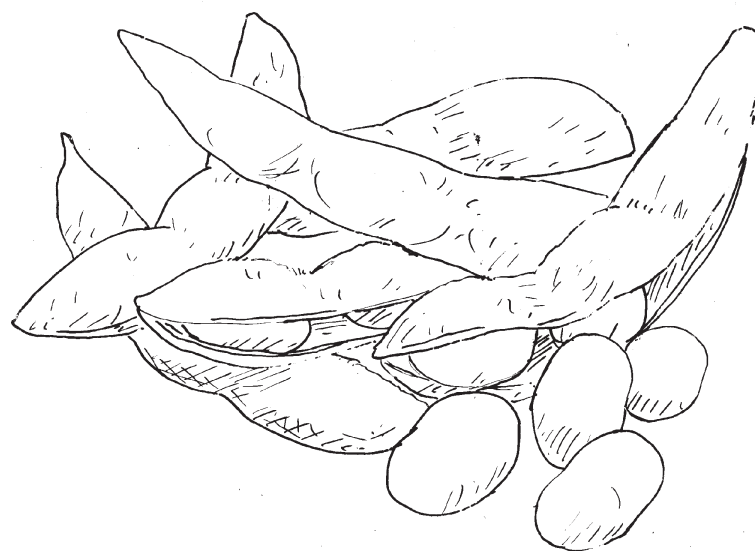
験やテント宿泊体験、部活動や社員研修、各種合宿等にも適した施設です。

自然体験プログラムやアウトドアッキングを通して、いつもと違った自分を発見する事が出来るでしょう。

また食事には、身延町でしか収穫することが出来ない幻の《あけぼの大豆》などの食材を使ったボリューム満点の田舎料理でおもてなし。きつと心も体も満足できるはず。

いつもの旅館やホテルとは違った素敵な時間を、この自然豊かな「みのぶ自然の里」でお過ごし下さい。

身延町では、「幻の大豆」と言われる
あけぼの大豆の収穫体験ができる。



11

身延町あけぼの大豆振興協議会では、
大粒で甘みの強い特産の「あけぼの大豆」
を使った地域活性化事業に取り組んでい
ます。

あけぼの大豆は地域性が強く生産量が
限られていて入手が難しく、「幻の大豆」
といわれ、特にその枝豆は収穫期である
十月の数日しか出回らず、とても希少で
す。そこで、より多くの皆様に味わって
いただくために町内の生産者の協力のもと
「あけぼの大豆」を栽培しています。

あけぼの大豆の産地フェアを開催した
り、収穫した大豆を使って特産品を開発
したりしています。



あけぼの大豆枝豆収穫体験／10月上旬～
問い合わせ／身延町あけぼの大豆振興協議会
(事務局:身延町役場産業課 Tel 0556-42-4805)



木喰上人は、江戸時代後期の僧で、北海道から九州までを旅し、千体以上の仏像を遺した。



12

ふれあいの対象となつて今も生き続けています。また、独特な微笑をたたえた像と上人自身の生き様は全国の多くのファンをひきつけてやみません。

【木喰上人の名の由来】

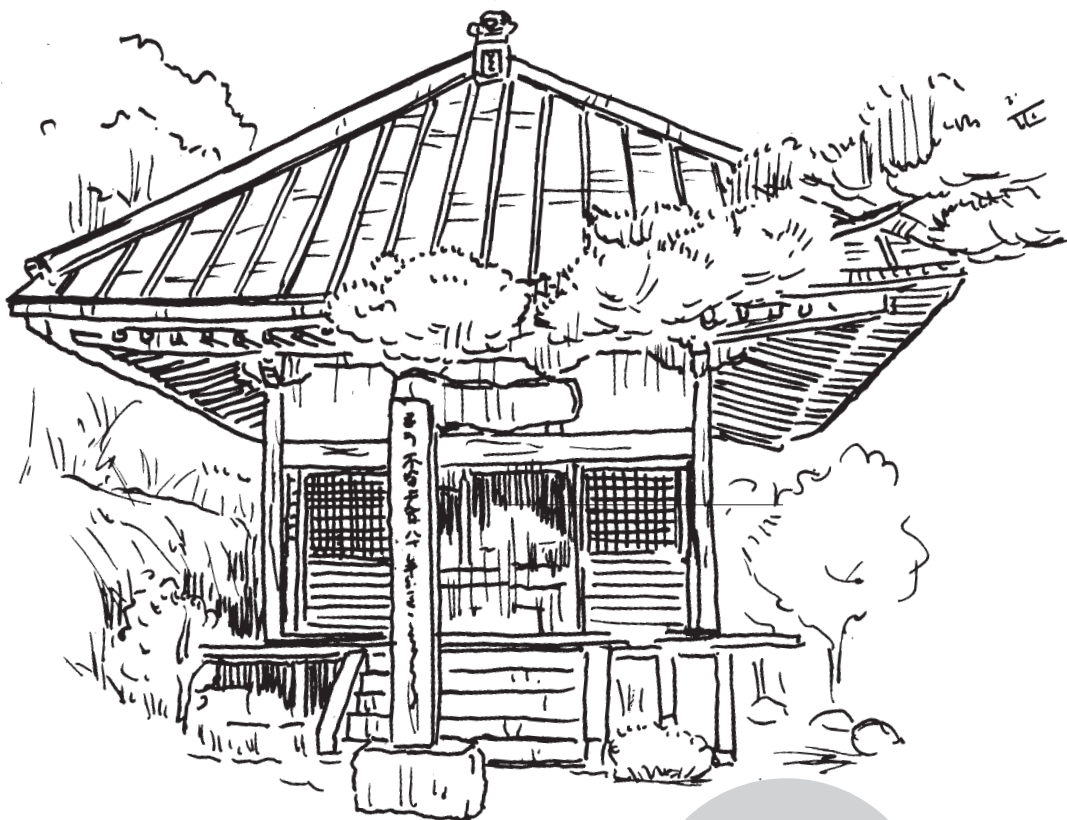
木喰の名は、「木食戒」が由来とされています。木食戒とは、五穀を断つて、木の実などを糧に山野を歩き巡るという、厳しい修業の戒律のことです。

木喰上人（もくじきしょうにん）は、享保三（一七二八）年、甲斐国八代郡古関村丸畑（現身延町古関丸畑）に生まれ、二十二歳で出家し、五十六歳のとき廻国修行の旅に出ました。仏像を彫り始めたのは六十歳を過ぎてからです。九十三歳で亡くなるまでに北海道から九州の国々を遍歴し、はじめ千体、後に二千体の造仏を目標に彫りつづけました。

現在全国各地で七二〇余体が確認されており、その多くが造られた当時の記憶をとどめ、その土地の深い信仰や身近な



「丸畑の地で、四国霊場八十八力所巡りができるように」と四国堂を建立し、生涯最大の群像を彫った。



13

めの四国堂を建立しました。

四国堂は、風雪にさらされ、大正八（一九一九）年に解体され、安置されていた仏像もいつしか全国に散逸してしまいました。しかし、大正十三（一九二四）年、民芸運動の創始者である柳宗悦（やなぎむねよし）に四国堂仏が見出され、木喰が全国的に陽の目を浴びるようになったのです。

「木喰の里微笑館」には木喰の自叙伝となる「四国堂心願鏡」が展示されており、それには木喰の前半生と四国堂建立の経緯などが記されています。木喰は二度の四国巡礼を含め、日本廻国の大願を果たしたのち、一路丸畑へ帰郷します。その際、地元の人々の願いに応えて、享和二（一八〇二）年に四国霊場の写しとなる八十八体の造仏を行い、それを一堂に安置するた



中之倉トンネルを越えると、
そこから千円札に描かれた
本栖湖の逆さ富士が見える。

14



古閑地区から本栖湖へ抜ける本栖みち
(国道三〇〇号線)を進み、中之倉トンネル
を越えると、眼前に突如、富士山が現れま
す。

平成十六(二〇〇四)年に発行された千
円札の裏面には、本栖湖の逆さ富士が印刷
されています。

昭和五十九年発行の五千円札(新渡戸
稲造ノにとべいなぞう)の裏面にも使わ
れていました。新渡戸は下部温泉郷に泊

まるなど何度も身延町を訪れていますの
で、縁があったのですね。逆さ富士は、写
真家岡田紅葉が撮影したもの。撮影ポイ
ントは本栖湖公衆トイレ付近の登山口か
らおよそ三十分登った中ノ倉峠展望台で
す。

ちなみに本栖みちは、「甲州いろは坂」
と呼ばれ、日本有数の紅葉の坂の名所にな
っています。



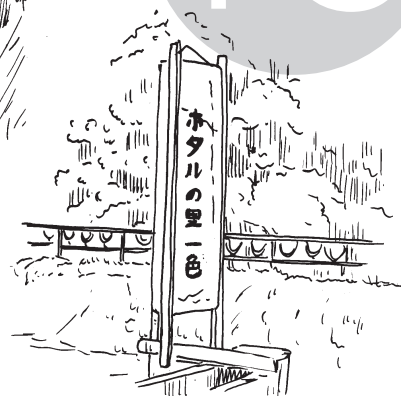
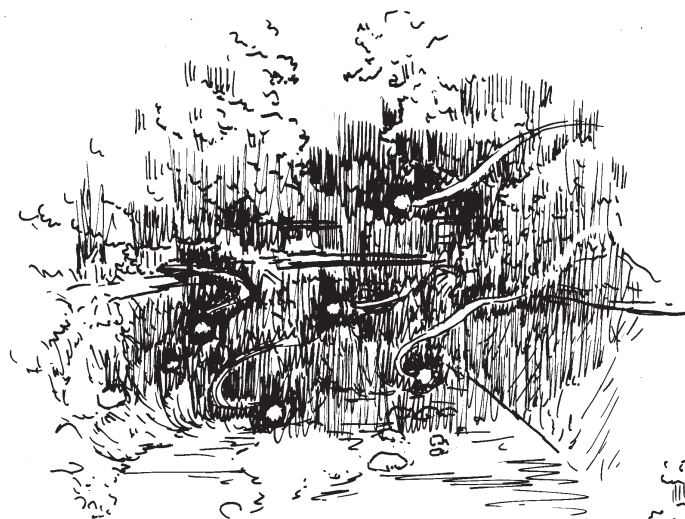
一色地区では
天然のホタルの乱舞を
見ることが出来る。

15

一色地区は、ゲンジボタルの里として全国的にも知られています。初夏、自然繁殖によるホタルが、ほのかな光を発しながら飛び交います。

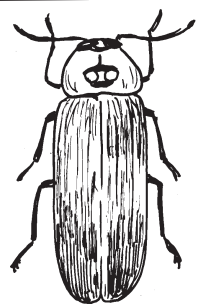
一色の「ホタルの里」では、五月末から六月中旬にかけてホタルの乱舞が見られ、幻想的な空間を作り出します。

六月には「ホタルまつり」が行なわれ、県内外各地から多くの人が訪れます。



下部温泉街の奥にある
湯町ホタル公園では、
元気に飛び交うホタルが見られる。

16



ゲンジボタル

下部川上流に「湯町ホタル公園」があります。その公園は地元温泉街の有志のみなさんによって環境整備が行われていて、初夏には自然発生の「ゲンジボタル」「ヘイケボタル」「ヒメボタル」などのホタルたちが乱舞する様子が見られます。

また、五月下旬から六月下旬にかけて、身延町商工会が一色地区の「ホタルの里」と「湯町ホタル公園」のホタルの飛翔状況をインターネットで伝えています。

身延町商工会ホームページ



大聖寺(だいしょうじ)の本尊・

不動明王坐像は、
国重要文化財に指定されている。

17



*不動明王坐像を見学したい方は、事前にお寺に連絡してください。

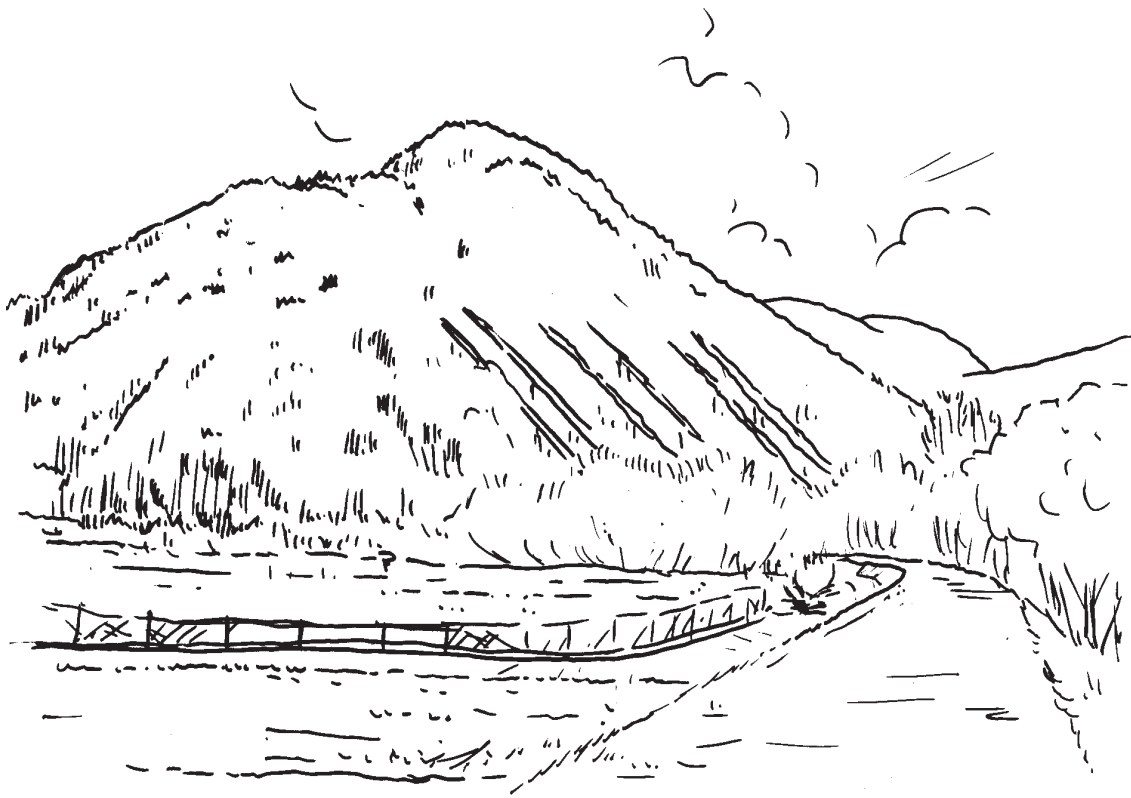
大聖寺は、長治二(一一〇五)年に新羅三郎義光が開基(かいき)して創建した古刹(こさつ)です。承安元(一一七一)年、加賀美遠光(とおみつ)／兄は武田氏を継いだ信義(ぎんぎ)が、禁中警護(朝廷の保安)の功績により、清涼殿(平安京内裏の社殿)にあった弘法大師作と伝えられる不動明王坐像を賜(たまわ)りました。遠光は、曾祖父である義光ゆかりの大聖寺にこの不動明王を祀ったのです。その後、本尊となり、現在は国の重要文化財に指定されています。

江戸時代、この不動明王は江戸へ出開帳(でかいちょう)されました。その回数は、成田不動について多いそうです。不動明王坐像は、ヒノキの一木造り。「平安時代の優れた彫像」として注目されています。



大聖寺
身延町八日市場539
Tel 0556-42-2815

宮木にはあの広重も描いた、
富士川三大難所のひとつ「びょうぶ岩」
がそそり立っている。



広重が描いたびょうぶ岩

18

早川が富士川に合流するやや上流に「びょうぶ岩」と呼ばれる山肌が露出した崖があります。町の指定文化財で、標高六三四メートルの醍醐山（だいごやま）の山腹にあります。火山礫凝灰岩（かざんれきぎょうかいがん）でできた河口累層であるため、地質学上でも貴重な地形です。理科の教科書にも載るくらいで、まるで立てた屏風のようなのでこの名が付きましたが、ここは富士川三大難所のひとつでもありました。

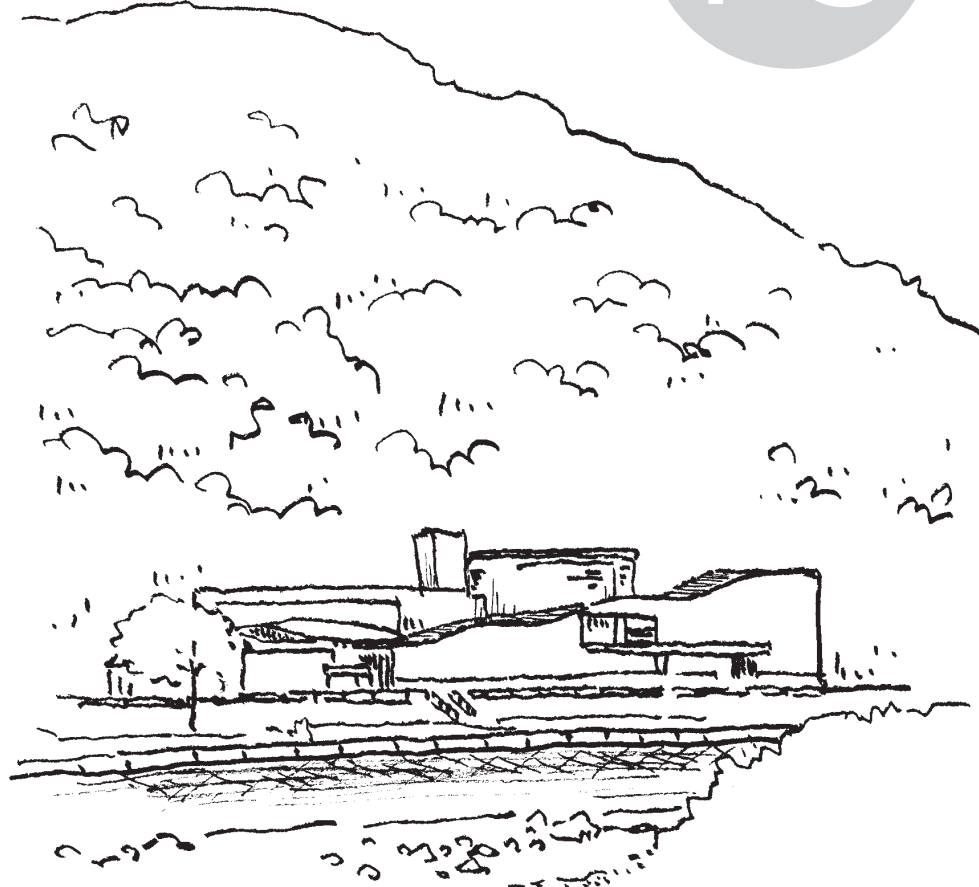
俳人・飯田蛇笏（いいただこつ）は、大正十五（一九二六）年、この「びょうぶ岩」を見て、「極寒の塵もとどめず岩ふすま」という句を詠みました。

また、近年、アメリカのオレゴン州のコレクターがもっていた歌川広重の「甲州日記写生帖」が日本で初公開となり、天保十二（一八四一）年に広重が富士川沿いを旅した折のスケッチが話題を呼びました。富士川のびょうぶ岩も描かれていますよ。

砂金採り体験ができる

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館。

19



身延町の毛無山の中腹に位置する湯之奥金山は、砂金に代わる日本の山金採掘の初源的形態が残されている貴重な遺跡です。中山金山、内山金山、茅小屋金山の三つの金山があり、戦国〜江戸時代初期に最も栄えました。

金鉱石採掘の方法は一般的に坑道掘りのイメージが強いのですが、初期の採鉱方法は表土に露出した風化鉱石を露頭掘りするものでした。三つの金山にはそれぞれ金山村があり、そこで日本初めて粉成（こなし）やゆり分け、精錬などの一連の作業が行われました。物事をうまくこなすという言葉は、この粉成作業が由来です。

博物館では国指定史跡中山金山を中心に、その歴史や採掘作業の様子などを、映像やジオラマ模型などを使ってわかりやすく紹介しています。



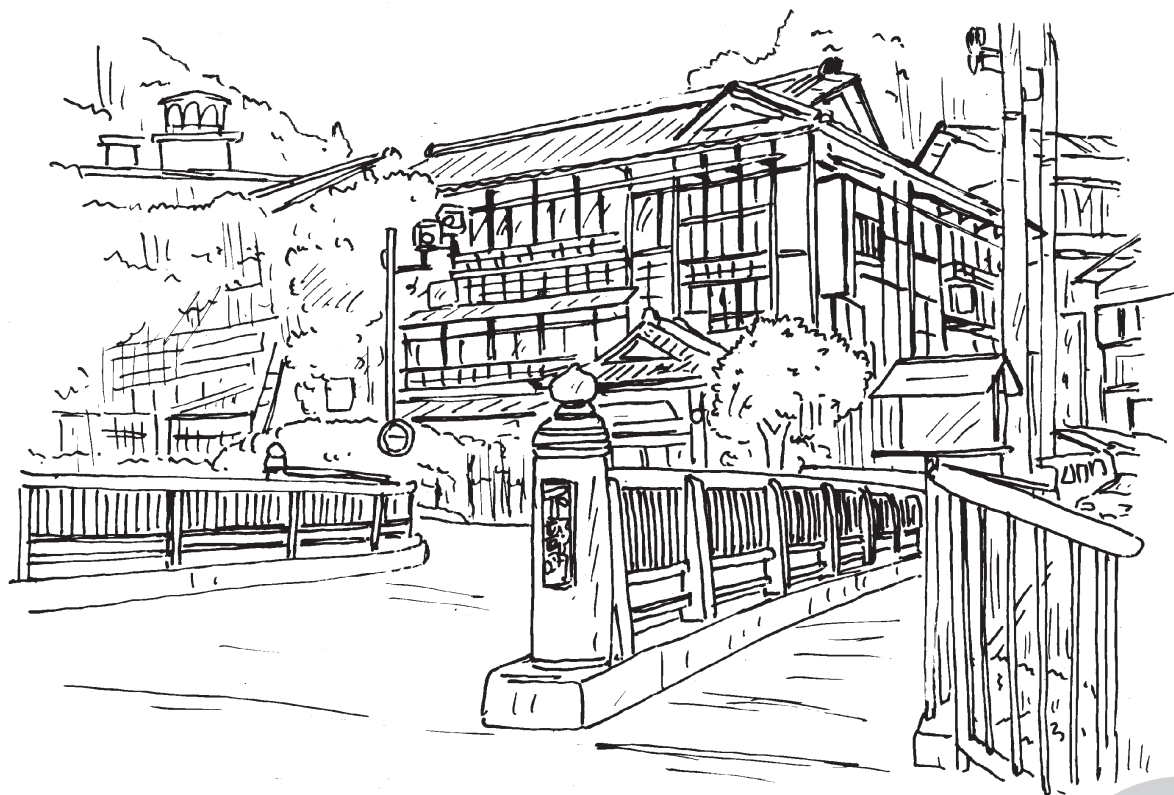
この石の中に
金が...



甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
身延町上之平1787 番地先
Tel 0556-36-0015



承和三（八三六）年に熊野権現が現れて
温泉が湧いたという伝承をもつ
下部温泉。武田信玄の隠し湯
としても有名である。



『甲斐国志』には、承和三（八三六）年に
熊野権現が出現して温泉が湧いたとする
伝承が記されていて、この温泉を中心に
下部村が生まれたことがわかります。現
在も温泉郷の中心に熊野神社があり、住
民が大切に守っています。

鎌倉時代には日蓮が当地で湯治を行
い、室町時代には塩山向嶽寺の開祖・拔隊
得勝も湯治をしたという記録も残ってい
ます。

戦国時代には湯之奥金山や木材伐採な
ど河内地方の産業を支える拠点にもな
り、やがて下部温泉は河内領主の穴山氏
が再興し、徳川家康も入浴したといわれ
ています。そこに武田信玄の隠し湯である
とする伝説も加わり、近代には富士身延
鉄道（身延線）の開通により浴客は急増し
ました。昭和三十一年（一九五六）年六月、国
民保養温泉地に指定されました。



湯之奥三千軒といわれたほど
栄えていたゴールドラッシュの
時代があつた。



21

毛無山西側の山中にある湯之奥金山遺跡は、中山金山・内山金山・茅小屋金山の総称です。甲斐国で金を採掘する金山の開発が先駆的に行われた場所と言われています。

金山採掘は、戦国期、穴山氏の支配下であり、江戸初期（十七世紀前半）までが最盛期でした。「湯之奥型挽き臼」と呼ばれた鉱山臼も開発されています。現在でも精錬場

は残っており、最も初期に開発された露頭掘りによる山金採掘遺跡として中山金山は国指定史跡となっています。

江戸初期の貞享三（一六八六）年ごろから、金が産出されなくなり、湯之奥の金山衆は山を下りはじめたそうです。

身延町をしだれ桜の里にしよう！
高校生が考えた
「しだれ桜の里づくり事業」が
動き出した。



22

身延町の魅力はいろいろありますが、
なんととっても名物は樹齢四百年を誇る
「身延山久遠寺のしだれ桜」。誰もが一度
は訪れたことがあるでしょう。日蓮宗総
本山であるこの久遠寺周辺には、約二千
本のしだれ桜が咲いています。

二〇一五年、地元の身延高校の女子生
徒たちが山梨県立大学との連携プロジェ
クトから、「町の中に、たくさんの満開の
しだれ桜があつたらすばらしい」という
提案を町長に行ない、「しだれ桜の里づく
り事業」が動き出しました。

下山地区にある富士川クラフトパーク

へ二〇一六年度に千六百本、二〇一七年度
に三千四百本のしだれ桜を植栽し、その
一部はクラウドファンディング事業によ
り大勢の皆さまの賛同により植えられま
した。今後は身延町内全域に植栽してい
き、日本一のしだれ桜の里にしていくな
という夢のような事業です。

しだれ桜はとても長く生きつづける樹
木です。この事業で植えた桜たちも、きつ
とこれから何百年先にも、綺麗な花を咲
かせてくれるでしょう。



法喜山上澤寺(じょうたくじ)にある

国指定天然記念物「オハツキサカサ
イチヨウ」の実の銀杏(ぎんなん)は
犬の牙の形をしている。

こんな言い伝えが残っています。

日蓮聖人が生き返らせた白犬が寿命で死んだとき、上澤寺の日受上人(法喜)は手厚く境内に葬りました。後日、寺に訪れた日蓮聖人がその白犬の塚にイチヨウの杖をさすと、杖に根が生え、やがて大木になりました。ところがさした杖が逆さまだつたため、ふつうは上に向く枝が下に垂れ下がりがり、しかも葉の表に犬の牙の形をした実が付くというたいへん珍しいイチヨウとなり、サカサイチヨウといわれています。

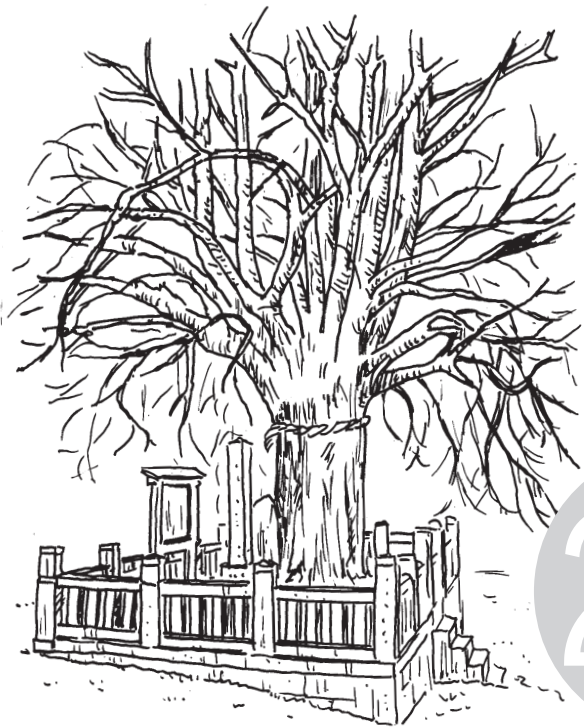


23

国指定天然記念物のオハツキイチヨウ
七本のうち、二本が身延町にある。

日蓮聖人は、身延山入山後、九年間修業に励んでいました。しかし、病にかかり、常陸国(茨城県)に湯治に向かうことになりました。途中、本国寺で一泊したとき、一本のイチヨウ(オハツキイチヨウ)を植えたと言えられています。そのイチヨウが巨木となつて今でも境内にそびえています。

国指定天然記念物のオハツキイチヨウは全国に七本あります。このうち三本が身延町にあります。この本国寺のイチヨウ(雌木)のほか、上澤寺(雌木)、八木沢山神社のオハツキイチヨウ(雄木)が国の天然記念物に指定されています。

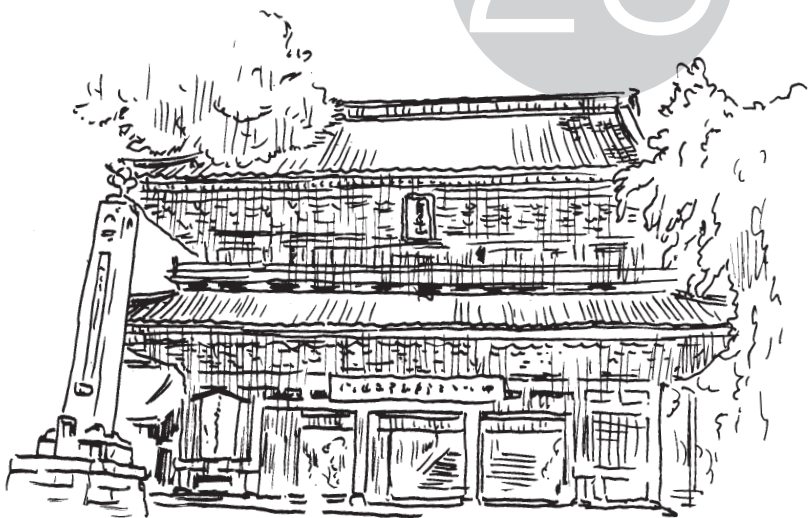


24

日本三大門の一つ久遠寺の三門は、 「空・無相・無願」を表している。

仏教では、「空・無相・無願」の三解脱門（さんげだつもん）を経て、「涅槃（ねはん／悟り）」の境地に至ります。お寺の門は「山門」と言いますが、久遠寺の「三門」は、本堂が「涅槃」に見立てられ、そこに入るために通る門です。

三門は、寛永十九（一六四二）年に創建、その後焼失し現在の門は、明治四十（一九〇七）年に再建されたもので、総ケヤキ造りです。楼上（ろうじょう）には、十六体の羅漢像（らかんぞう）が安置されています。一年に一度、八月七日に拝観することができま



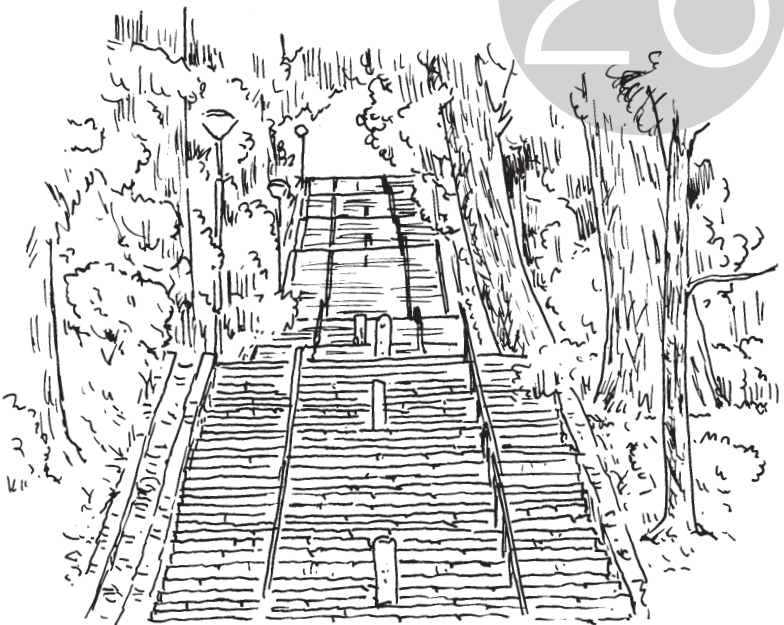
*日本三大門には二つの見解があります。

1 知恩院 南禅寺 久遠寺 2 東大寺南大門 法隆寺南大門 東照宮陽明門

二百八十七段の石段・菩提梯 「悟りへの階段」である。

菩提梯は、お題目「南無妙法蓮華經」の七文字にあわせて七区分されてつくられました。石段の数は二百八十七段になっています。

菩提梯の入口右手には、南部実長（波木井）公の像があります。そこから菩提梯に沿ってのびる坂道は急であることから男坂と呼ばれています。女坂もあり、実長公の像の所から分かれて右手に進み甘露門（かんろもん）をくぐって本堂へと向かいます。



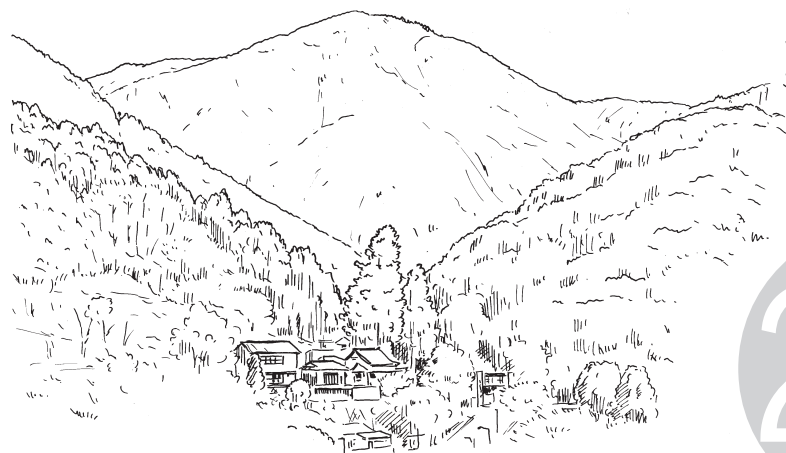
26

25

日蓮聖人は、お釈迦さまの
生き方にならって、
身延山を靈山浄土
とされた。

(りょうぜんじょうど)

お釈迦さまは、晩年の八年間、インドの
靈鷲山(りょうじゅせん)で「法華経」を説
きました。日蓮聖人は、自分の晩年の地を
お釈迦さまにならって身延山としたので
す。身延山は『南無妙法蓮華経』の題目を
唱えさえすれば、生きているうちに靈山浄
土に往(ゆ)ける」と説く日蓮宗の教えを具
現(ぐげん)した山です。この山は「この世
の浄土」と考えられています。



27

久遠寺本堂は、
日蓮聖人七百遠忌
記念事業として再建された。

(おんき)の

28



身延山久遠寺(くおんじ)は、正式には「身
延山妙法華院(みようほっけいん)久遠寺」
と言い、日蓮宗の総本山です。かつて久遠
寺は、現在の西谷、御草庵跡の地にありま
したが、第十一世法主(ほつす)・行学院日
朝上人の代、文明七(一四七五)年、現在地
に移転し、今日に至っています。

本堂は、明治八(一八七五)年の大火で焼
失。その後、日蓮聖人七百遠忌(おんき)の
記念事業として再建されました。

身延山久遠寺
身延町身延3567
Tel 0556-62-1011



祖師堂内陣の宮殿くうでんには、
日蓮聖人が祀まつられている。



祖師堂は日蓮聖人をお祀りするお堂です。内陣の宮殿には、日蓮聖人の御像（おんぞう／日蓮聖人の靈魂を祀った像）が安置されています。日蓮聖人の霊が棲（す）んでいる堂閣であることから、棲神閣（せいしんかく）とも呼ばれています。

御像の左右には、日蓮聖人の両親の靈牌と六老僧の像が置かれています。

29

本堂の天井には、日本画家・
加山又造（かやまたぞう）画伯が描いた
墨龍（ぼくりゅう）がいます。



天井画の墨龍は、日本画家・加山又造（かやまたぞう）画伯が描きました。画伯は、京都・天龍寺の天井画も描いた日本画壇の重鎮。鳥の子和紙を張った八十一枚の板に金箔をはり、そこに墨で龍が描かれています。龍は、仏法を守護し、建物を火災から守ると信じられています。

30

祖師堂前のしだれ桜は、
樹齢四百年の巨木である。

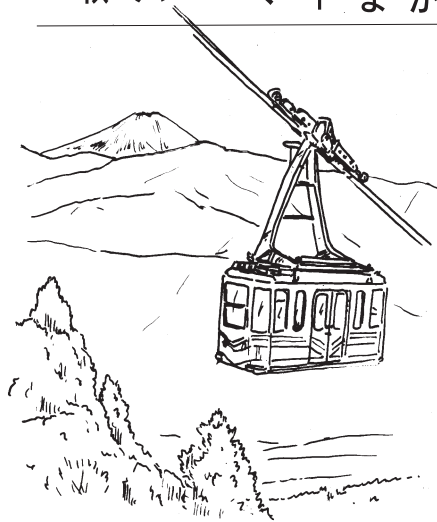


春になると境内に、樹齢四百年のしだれ
桜が花を開き、毎年たくさんのお客様の目
を楽しませてくれます。その姿は、壮麗な
お堂に差した大きな花傘のようです。

身延山ロープウェイに乗れば、
たった七分で身延山山頂に辿り着く。

身延山の山頂には奥之院思親閣(しんかく)があります。標高は一一五三メートル。かなりの距離です。でも、身延山ロープウェイに乗れば、奥之院まで約七分で到着。七分間の旅は、眼下に身延のまちが一望でき、晴れた日には富士山や駿河湾まで見えます。ちなみにロープウェイの中で、録音した「仏法僧」と鳴くのはずくの鳴き声を聴かせてくれます。

また、北と南と東に展望台があり、大パノラマを満喫できます。山頂では、春と秋に「ダイヤモンド富士」が見られます。



身延登山鉄道株式会社
TEL 0556-62-1081

営業時間 (片道所要時間7分/20分間隔運行)

3/16~11/15 上り始発8:40 上り終発16:00 下り終発16:40
11/16~11/30 上り始発8:40 上り終発15:40 下り終発16:20
12/1~3/15 上り始発9:00 上り終発15:40 下り終発16:20

正月三ヶ日、観桜期、五月連休などは特別営業時間にて運行、終発も随時延長。

運賃 大人(中学生以上) 往復 1,400円 片道 760円
小人(4歳~小学生)往復 700円 片道 400円

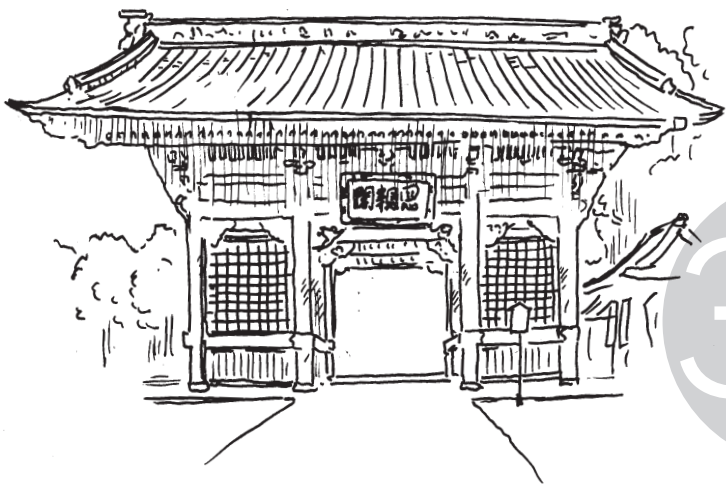
備考:30名以上~団体・学生割引あり



日蓮聖人は、身延山山頂に登り、
両親を追慕(ついで)した。

身延山山頂にある久遠寺の奥之院思親閣は、文字通り親を思う場所です。日蓮聖人は、機会があれば身延山に登りました。山頂から故郷である房総半島の小湊の方に向かって両親を追慕していたと伝えられています。

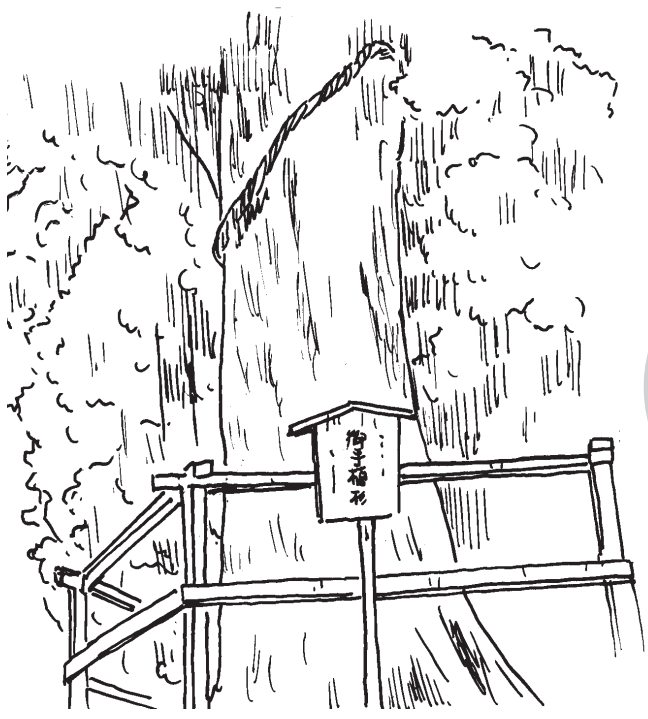
思親閣(別名・大孝庵)は、日蓮聖人入滅後に日朗(にちろう/六老僧の一人)によって開創されました。



思親閣には、「日蓮聖人お手植えの杉」が
空高くそびえ立っている。

思親閣の石段の左右に四本の杉の古木
があります。この木は、「日蓮聖人お手植え
の杉」と伝えられています。今は大空に向
かう勇壮な姿でそびえ立っています。

また、仁王門の左右に立つ仁王像は、運
慶作と言われ、密迹（みつしゃく）金剛像と
那羅延（ならえん）金剛像が寺域を守護し
ています。



34

西谷^{（にしだに）}の御草庵跡^{（ごくそうあんあと）}は、
日蓮聖人がはじめに住んだ、
久遠寺発祥の地である。

35

日蓮聖人は、身延山に入山した文永十一
（一二七四）年から九年間、草庵で生活して
いました。老杉に囲まれた石造りの玉垣内
の方形の地が草庵跡（県指定文化財）です。

日蓮聖人は、当時の身延山の冬について、
「昼も夜もたいへん寒く、鍋も水が凍って
割れるほどだ。着る物、食べ物は乏しく、家
は敷物もない土間なので、凍え死ぬ人もた
くさんいる」と書き残しています。

日蓮聖人を庇護（ひご）した南部実長公
らによって新坊が建てられ、日蓮聖人が身
延山久遠寺と命名しました。



第五回地域再生大賞優秀賞を受賞した
「身延どんぶり街道」、
お気に入りの丼ものを見つけよう！



第五回地域再生大賞優秀賞を受賞した「身延どんぶり街道」は絶好調。身延町商工会と地元的身延高校とのコラボ企画だったこのプロジェクト、すっかり定着して多くのみなさんに人気を呼んでいます。

町内の十四のお店が腕を競い、ユニークなどんぶりを提供しています。あけぼの大豆の味噌カツ丼や鹿肉がおいしい馬鹿（うまか）丼、ふじかわもろこのピリ辛炒め丼等々、ネーミングもユニークな新作どんぶりが並びます。

ぜひ一度お試しください。

36

身延町商工会ホームページ



minobu-nobinobi-guide book

いろんな見どころが光ってる

みのぶのびのび ガイドブック

発行 身延町みのぶ自然の里
(特定非営利活動法人みのぶ観光センター)
〒409-3313
山梨県南巨摩郡身延町平須238-1
Tel 0556-42-3181
Fax 0556-42-3182

編集 特定非営利活動法人つなぐ

企画+印刷 株式会社サンニチ印刷

発行日 2018年3月1日